

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	発表者 (※:筆頭演者)
1	第14回日本刺胞・有櫛動物研究談話会	2018年5月19-21日	飼育下におけるコクラゲの幼生の育成について	水槽内で繁殖したコクラゲの幼生について、飼育下において底生生活へ移行するまでの育成について報告した。	※谷本 都
2	日本動物分類学会第54回大会	2018年6月9-10日	日本近海から得られたハタ科イサハナダイ属の色彩多型	日本産イサハナダイ属魚類には形質により区別される4型が存在することを報告した。	和田英敏・瀬能 宏・宮本 圭・本村浩之
3	日本哺乳類学会 2018年度大会	2018年9月7-10日	沖縄島及び奄美大島周辺におけるザトウクジラの海域間移動	沖縄島周辺及び奄美大島周辺におけるザトウクジラの識別写真の照合結果より、両海域の集団が同一個体群である可能性を報告した。	※岡部晴貴・興 克樹・小林希実・真 直人・宮原弘和・内田隆三
4			沖縄海域におけるザトウクジラのソング日周変動	沖縄島周辺海域におけるザトウクジラのソング(鳴音)録音データ解析より、ソング行動に明確な日周変動があることを報告した。	※小林希実・岡部晴貴・真 直人・宮原弘和・内田隆三
5	第62回日本医真菌学会総会	2018年9月8日	Arthrographis kalrae 感染とクジラ型パラコクシオイデス症の血清学的交差反応	人畜共通感染症のArthrographis症と主に鯨類にみられるクジラ型パラコクシオイデス症と交差反応試験結果を報告した。	※佐野文子・周本剛大・植田啓一
6	International Federation of Placenta Associations 2018 Tokyo	2018年9月22日	Reproduction in the great white shark <i>Carcharodon carcharias</i> : Lipid histotrophy in early gestation	ホホジロザメの胎子が子宮ミルクによって成長することを報告した。	※Sato K
7			Reproduction in the great white shark <i>Carcharodon carcharias</i> : Oxygen supply to the embryo	ホホジロザメの子宮が高い酸素供給能力を持つことを報告した。	※Tomita T
8			Ultrasound findings of the respiratory system in embryonic sharks	ツノザメの胎仔の呼吸が、子宮に取り込んだ海水によって賄われている可能性を報告した。	※Cotton C, Tomita T, Toda M
9	2018年度日本魚類学会年会	2018年10月6-7日	ハリセンボン <i>Diodon holocanthus</i> の噛む力はどれくらい?	ハリセンボンの咬合力を実測し、魚類の中で最強レベルであったことを報告した。	※荻本啓介・園嶋一朗・園山貴之
10	The 2018 Annual Academic Conference of China Aquarium Association	2018年10月15-18日	Aquarium meets science—New field for shark science	沖縄美ら海水族館における研究活動の紹介と、水族館における科学の重要性について発表した。	※Tomita T
11	日本甲殻類学会第56回大会	2018年10月20-21日	久米島沖から採集されたクモエビ上科(十脚目:異尾下目)の2種	久米島にある沖縄県海洋深層水研究所の取水配管に迷入した、未記載種及び日本初記録種の大形コシオリエビ2種について報告した。	※大澤正幸・真地拓生
12	10th International Aquarium Congress 2018 Fukushima Japan	2018年11月5-10日	Reproductive parameters of captive sea turtles in Okinawa Churaumi Aquarium	海洋博公園で繁殖したウミガメ類の繁殖生物学的データを取りまとめ、飼育下繁殖では低孵化率が問題であることを報告した。	※Kawazu I, Fukuda S, Maeda K, Maeda K, Kino M, Omata M, Makabe M, Kobuchi T
13			Effects of energy intake and water temperature on body shape of whale sharks in Okinawa Churaumi Aquarium	飼育ジンベエザメの摂餌による摂取熱量と水温による体型変化のモニタリング結果をまとめ、高水温期の要求熱量が大きいことを報告した。	※Matsumoto R, Murakumo K, Furuyama R, Matsuzaki S
14			Surveillance of epidemic serotype of miamiensis <i>avidus</i> causing scuticociliatosis in Japanese aquariums	日本の水族館において、スクーチカ症の原因虫である <i>Miamiensis avidus</i> の血清型のサーベイランス調査を実施し、ワクチンによる予防効果の検討について報告した。	※Yanagisawa M, Kaneko A, Kino S, Osawa A, Yoshizawa M, Kondo K, Kitamura S
15			Study of reproductive biology to create "artificial uterus" to provide nutrients for great white shark embryos	ホホジロザメの胎仔の繁殖システムについての研究成果の報告と、人工子宮プロジェクトについての紹介を行った。	※Sato K, Tomita T, Nozu R, Nakamura M, Toda M
16	第29回日本ウミガメ会議	2018年11月9-11日	美ら島自然学校の取組み ウミガメを通じた地域連携	美ら島自然学校でのウミガメを通じた学習プログラムを紹介した。	※前田好美・鈴木瑞穂・河津 聡
17			アカウミガメの累代繁殖成功	アカウミガメの累代繁殖成功事例を通して明らかになった成熟年齢や成熟判定方法について報告した。	※小瀬貴洋・真壁正江・真柴田賢・深田晋悟・河津 聡
18			重度の貧血が確認されたアカウミガメの治療例	緊急保護され、重度の貧血が確認されたアカウミガメの治療経過について報告した。	※小俣万里子・上迫春香・真壁正江・真柴田賢・小瀬貴洋・深田晋悟・植田啓一・河津 聡
19			タイマイにおける孵卵温度の日内変動の影響について	タイマイの孵卵温度の日内変動が孵化率、形態および運動性に及ぼす影響について報告した。	※高田光紀・三宅香成・小坂 将・向後連太郎・芦田泉香子・河津 聡・深田晋悟・小瀬貴洋・真柴田賢・徳武浩司・斉藤知己
20	日本動物園水族館協会 第63回水族館技術者研究会	2018年11月26-27日	沖縄近海におけるコクラゲの付着基質と成長	ROVで観察されたコクラゲについて、自然下での付着基質の特定及び、飼育下での成長速度について報告した。	※比嘉後理・真地拓生・山城 篤
21			オニイトマキエイの輸送	世界初の展示となったオニイトマキエイの捕獲から生簀、生簀から展示水槽までの2つの輸送方法について報告した。	※金谷悠作・松崎章平
22	日本爬虫両棲類学会 第57回大会	2018年11月27-28日	海洋博公園におけるクワイフカゲモドキの捕食と被捕食例	4年間にわたる調査の中で6種8例の捕食と1例の被捕食を観察したので報告した。	※徳武浩司・山崎 啓
23			海洋博公園のクワイフカゲモドキの出現頻度と環境要因	本個体群の活動率と出現場所の条件の分析結果を報告した。	※山崎 啓・徳武浩司
24	第44回 海獣技術者研究会	2018年12月5-6日	マダライルカの出産	飼育下で繁殖したマダライルカの出産と結果について報告した。	※池島集哉・徳武浩司・植田啓一・外間克也・比嘉 克・上迫春香
25			オキゴンドウの精液採取訓練	精液採取を行い良好な結果が得られたために、その訓練方法等を報告した。	※比嘉 克・古賀壮太郎・小俣万里子・上迫春香・佐久間光貴
26	第59回日本動物園水族館 教育研究会出雲大会	2018年12月8-9日	地域の自然環境を利用した事前事後学習を伴う参加・体験型環境学習の実施事例	ESDの観点より、園内で実施している環境教育(海洋博公園ナイトツアー・海辺の生きもの探検ツアー)の教育効果の解析結果を報告した。	※山崎 啓・徳武浩司
27	第111回土佐生物学会大会	2018年12月9日	タイマイにおける孵卵温度の日内変動の影響について	タイマイの孵卵温度の日内変動が孵化率、形態および運動性に及ぼす影響について報告した。	※高田光紀・三宅香成・小坂 将・向後連太郎・芦田泉香子・河津 聡・深田晋悟・小瀬貴洋・真柴田賢・徳武浩司・斉藤知己
28	平成30年度九州沖縄ブロック 飼育技術者研究会	2018年12月13-14日	沖縄美ら海水族館の飼育生物を題材とした紙芝居の読み聞かせ	飼育生物を題材とした幼児向け紙芝居の作成法と実施、有用性について報告した。	※比嘉明日香・横山季代子・塚原 健・齋間 萌・馬場友里香
29	板鯨類シンポジウム2018 in 長崎	2018年12月23日	ネズミザメ類の人工子宮作成を目指した繁殖学的研究	ネズミザメ類の胎仔への栄養供給システムに関する新発見と、それを適用した人工子宮の作成について報告した。	※佐藤圭一・冨田武照・野澤 了・中村 隆
30	平成31年度 日本水産学会春季大会	2019年3月26-30日	血液の網羅的遺伝子発現解析から板鯨類の生殖状態を反映した新規分子マーカーを探索する	飼育下の雌トラフザメを用いて生殖状態を反映した新規分子マーカーを探索し、その有効性を検証した。	※野澤 了・村重清美・松本理徳・辰見香織・工業樹洋・佐藤圭二